

TO BE!

東北文教大学で
見つける、叶える。
なりたい自分へ進行中。





welcome

留学生

海外協定締結校との関わりも多く、交換留学やオンライン受講などの国際交流も積極的に行っている東北文教大学。現在は台湾からの留学生3名がキャンパスライフを楽しんでいます。異文化である日本での生活、大学での多様な経験や学びの中で、どんなことを感じているのでしょうか。留学生たちのホンネを探ってみましょう！

こんな国際交流をしています



留学生と日本人学生と一緒に、お花見や芋煮会、スキー体験などさまざまな活動を展開。言葉や文化の壁を越えて国際交流を楽しんでいます。

留学生に聞きました!!

- Q1 東北文教大学に留学したきっかけは? Q2 大学の好きなところ、大学生活の思い出は? Q3 将来の夢は? Q4 山形のお気に入りとは? Q5 台湾のおすすめは?

留学生チューターって?

01

Welcome International Student file



人間関係学科

ショウ ルイエン 鍾 芮恩

出身国/台湾

留学期間/2022年8月~2023年9月(1年間)

- A1 台湾はめちゃくちゃ暑いところで私は雪を見たことがなかったんです。それで台湾の大学の先生が東北の大学を勧められました。
- A2 友達がみんな優しい。私が日本語を聞き取れないときは翻訳機を使っておしゃべりを楽しむことも。霞城公園に行って、友達とピクニックしながらのお花見が楽しかったです。
- A3 中国の小説が好きなので、翻訳家になって日本の皆さんに中国の小説をもっと紹介したいです。
- A4 春は桜、秋はイチョウ、冬は雪がキレイな霞城公園。山形の食べものは台湾に比べてしょっぱいと感じてしまうのですが、芋煮はおいしいですね!
- A5 台湾は「グルメの国」と呼ばれるくらいおいしい食べ物がたくさん。中でもおすすめは「牛肉スープ」です!



My best memory

霞城公園でのお花見
ずっと見たいと思っていた
日本の桜が素敵だった!

02

Welcome International Student file



人間関係学科

セン エイキ 銭 盈綺

出身国/台湾

留学期間/2022年8月~2023年9月(1年間)

- A1 海外に行ってみたくて、日本語も勉強したかったから。友達と一緒に留学できることも大きかったですね。雪も見たいと思っていました。
- A2 ビザ駅伝が思い出に残っています。最初は「マラソン?」と正直気が進みませんでした。実際に参加したらとても楽しかったです。
- A3 日本語能力試験の一番難しいレベル「N1」に合格したいです。機会があればワーキングホリデーで日本に来たいですね。いつか日本に住んで働くことが夢!
- A4 ラーメン屋さん巡りをするくらいラーメンが好き! ラーメン好きな人にぜひ山形に来てほしいです。
- A5 日本では台湾式クレープと呼ばれますが、日本の甘いクレープとは違う、台湾の朝ごはんの定番「ダンピン」がイチオシ!



My best memory

ビザ駅伝
2回目の参加。友達とも
仲良くなり前回りも楽しかった!

03

Welcome International Student file



人間関係学科

コウ イサン 黄 意珊さん

出身国/台湾

留学期間/2023年3月~9月(半年間)

- A1 日本で大学生生活を体験したいと思ったから。日本のアニメや漫画など文化も好きです!
- A2 友達も先生も優しい。私を気遣ってゆっくり話してくれたり、簡単な言葉で話してくれたりします。R.I.A部での花火大会が夏の思い出。けん玉や人狼ゲームも面白いですね。
- A3 日本語能力試験の「N1」に合格して、台湾の観光地を日本の方に案内するガイドになりたいです。
- A4 山寺です。あんなに高い木を見たのが初めてで、展望台から見下ろす景色もすごくキレイ。山形の辛みそラーメンや冷やしラーメンも大好き!
- A5 台湾の定番おやつ、サツマイモボール「地瓜球(ディーグワジョウ)」。タロイモと牛乳を混ぜた「タロイモミルク」も台湾の若者の間でブームになっています。



My best memory

花火大会
みんなと一緒に見た花火が
とってもキレイだった!

tutor

Welcome International Student



初めて日本を訪れた留学生は、留学生活を始めるにあたり、言葉や生活習慣の違いなどさまざまな困難に直面します。チューターは、留学生がスムーズに学生生活を送ることができるよう、本学学生が先輩として友人の立場から、本学国際センターと連携しながら、学業面や生活面を支援する重要な役割を担います。

留学生チューターをやっています!



子ども学科2年
松田 綾菜さん
山形市立商業高等学校 出身

他国の良さに 気づききっかけに

韓国人留学生のチューターをしています。授業で出された課題で困っていることを聞いて一緒に勉強をしたり、お互いの国の文化や好きなことを話したり、いつも心がけているのは、相手にどう話したら伝わるかを考えて話すこと。韓国の文化のお話を聞いていると魅力的なことばかり。人生で絶対に行ってみたいところです。

私の毎日に欠かせない ルーティン!

TOHOKU BUNKYO

my BEST ROUTINE

皆さんは毎日の習慣にしていることはありますか?
朝起きたら「コレ」、夜寝る前は「コレ」
といったルーティンが誰でも一つはあるはず。
今回は東北文教大生の「ルーティン」にフォーカスしました。



寝る前は何かしながら
ゆるーくストレッチ!

人間科学部 子ども教育学科/4年
大場 悠可さん
山形県立上山明新館高等学校 出身

寝る前に軽いストレッチをしています。小さい頃から柔軟性が必要とされるバントワリングをしていて、その名残で今でも続けています。今、頑張っているのは卒業研究のための予備研究。幼稚園での子どもたちの会話から見えてくるものを情報として集めています。夢は保育者。子どもに喜んでもらえる手遊びなど、楽しいことの引き出しを増やしていきたいです。



ストレッチで柔軟性を維持しています。



STRETCH

まんまるになる目がうちの猫のチャームポイント。



かわいい猫たちに
毎日癒されています!

Playing with
CATS

短期大学部 子ども学科/1年
丹野 愛海さん
山形明正高等学校 出身

家で飼っている二匹の猫の写真を撮ったり、一緒に遊んだりすることが私のルーティン。もともと写真撮影が趣味で、以前は風景や花を撮っていましたが、猫が家に来てからはずっと猫ばかり撮っています。将来目指すのは子どものことを知った上でどう接するかを考え、その子の個性を生かせる保育者。「この先生で良かった」と思われる保育者になるため努力しています。



BATH TIME



人間科学部 人間関係学科/2年
井上 颯さん
米沢中央高等学校 出身

お風呂で歌って気持ちもすっきり!

コロナ禍でカラオケに行けないうちをきっかけに、お風呂で歌うように。誰にも迷惑をかけずに大声で歌えるのがいいですね。1時間くらい湯船に浸かってリラックスタイムを楽しんでいます。今年はスポーツ祭の実行委員長を務めたことが貴重な経験になりました。学習だけではなく大学のイベントなど、何事にも全力で挑める人になれるよう頑張りたいです。



電車通学やジョギングのときは、お気に入りの音楽を聴いています。



早朝ウォーキングの後は
足湯でゆったり

短期大学部 現代福祉学科/2年
土谷 隆隼さん
東北文教大学山形城北高等学校 出身

朝5時に起きてウォーキングをした後に、足湯に入って疲れを癒しています。アルバイト以外の日はほぼ毎日歩いています。現在は介護職を目指して学ぶ日々。実習を通して介護の難しさを知る一方で、人を助けられる職業にやりがいを感じています。自分を導いてくださる先生方のもとで、介護の知識や技術をレベルアップしていきたいです。



早朝の足湯は人が少ないので、貸し切り気分です。



WALK

寝る前に
絵を描くことで
心が満たされる!

人間科学部 人間関係学科/2年
平賀 春多朗さん
山形県立新庄南高等学校 出身

大学に入ってから、寝る前にパソコンで絵を描くことが習慣になりました。つい描くことに熱が入ってしまい、気づけば朝になっていることも。一見目が冴えてしまいうるルーティンですが、絵を描いた達成感で不思議と眠りにつくことができます。今は小さい頃からの夢である司書の資格を取るために勉強中。社会人としてのマナーもしっかり身に付けていきたいです。



DRAWING



ペンタブレットで爬虫類の絵を描くことが多いです。

小学生から
続けている
習慣です。



FEELS GOOD
STRETCH

短期大学部 現代福祉学科/2年
鈴木 さくらさん
米沢中央高等学校 出身

柔軟性を保つことは介護職にも役立つ!

きっかけは、小学生のときから野球をやっていたコーチから柔軟性をつけた方がよいとアドバイスをもらったこと。以来ずっと、お風呂上がりにストレッチをしています。実習の介助の場面でも柔軟性が役立ちますし、体の負担をやわらげるのにもいいですね。支援の必要な方に伝わる接し方やコミュニケーション力を身に付けられるようにより成長していきたいです。



歌うことが大好き!
通学のときは
いつも歌っています

人間科学部 子ども教育学科/4年
石井 桃子さん
山形県立寒河江高等学校 出身

車の中で歌いながら登下校するのが日課。幼い頃から音楽に触れる機会が多く、音楽は生活に欠かせないものとなっています。大学の軽音楽部ではボーカルを担当したり、最近ではドラムを叩いたりしています。将来の夢は小学校の先生。教員採用試験に向けて勉強に励み、自分がこれまでに出会った先生方のように、子どもたちとまっすぐ向き合える教員になりたいです。



SING



大学寮に向けて、始めて5か月のドラムを練習中。



DRIVE

ゲームをすることに
ハマっています!

短期大学部 子ども学科/2年
堀米 華奈さん
山形県立谷地高等学校 出身

寝る前のゲームが習慣に。ハマっているのは「住民の動物たちと無人島で暮らすあのゲーム」。一度ゲーム熱が冷めていたのですが、好きな実況者さんの動画サイトを見たのをきっかけに再燃しました。将来の夢は保育者。子どもたちを楽しませるために大切なことは、自分が笑顔でいること。いつも笑顔を決めたいと思っています。



GAME

SMILE



最近「謎の生物と惑星を冒険する話題のゲーム」を頻りにプレイ。





人間関係学科 准教授
永盛 善博

NAGAMORI YOSHIHIRO

人の心の側面が
どう変化していくかを分析する
そこから得られる俯瞰的視点

教員プロフィール / 東北文教大学人間科学部 人間関係学科 准教授。早稲田大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士後期課程 単位取得退学。専門分野は発達心理学、教育心理学。研究課題に「幼児期・児童期の世界観についての研究」があり、担当する授業は「家庭支援の心理学」「子育て支援」「幼児と人間関係」等。

胎児から高齢者まで
人の心の“変化”を見る

齋藤 / 先生のご専門の一つである「発達心理学」について教えてください。

永盛 / 人の心には思考・感情・対人関係・性格などさまざまな側面があります。発達心理学は胎児から高齢者まで、そのような人の心が加齢とともにどのように変化し、なぜそのような変化していくかを調べる学問です。

齋藤 / どのようなきっかけで「発達心理学」を研究するようになったのですか。

永盛 / 高校生の頃から、「『人間』『人』って何だろう。どうしてこんなにも多様なんだろう」といったことに興味を持っていました。そうしたことから心理学を学べる大学に進学。人を知ろうと思ったら、子どもも大人も、おじいちゃんもおばあちゃんも人だし、そういった発想を広げる中で、今の大人の姿だけを見ても答えは見つからない、子どもの頃からの変化を辿っていくことで答えが見えてくるのではないかと思い、発達心理学をより詳

しく知ろうと思いました。

齋藤 / 学生により理解してもらうために授業で工夫していることはありますか。

永盛 / 自分に関係のあることとして捉える、つまり当事者性を持つように心がけています。授業では漫画家さんご自身の3人の子どもの面白いエピソードを描いた、「子育て絵日記ブログ」を取り上げ、学生同士がお互いに意見交換できる時間をつくっています。できる限り学生にイメージを具体化させて、取り上げる対象が生身の人間なんだということを工夫して伝えていきたいです。

過去、現在、未来
物事は常に変化していくもの

齋藤 / 「発達心理学」の魅力や面白さはどんなところにありますか。

永盛 / 例えば5歳の子と、小学2年生、小学4年生に同じ質問をするとそれぞれ違った答え方をしますが、同じ年齢同士では共通の答え方をする傾向に。全く文化も時代も言語も違う子ども

たちが、同年齢で同じ反応を示すので、あらかじめそういった予想は立つつも「やっぱりそう答えるのか!」とその場面に会ったときの研究の面白さがありますね。将来、学校の先生や保育者を目指す学生にとっては、子どもの発達を支援していく専門家として発達心理学は必要不可欠。また、そうでない学生にとっては、人や対人関係を含めて、物事を“変化”という視点から見られるようになることは強みになります。たとえ何か問題が生じていても、ずっとそのままというわけではありません。過去からのプロセスを経てその状態になったものですし、その後の未来も変化し続けていくもの。そうした俯瞰的に捉えられる力を得ることが一つの武器になると思います。



NOTICE BOARD

REPORT ハワイ州立大学コミュニティカレッジの副学長補佐が来学し、懇談会を行いました



6月14日(水)に、ハワイ州立大学コミュニティカレッジのナカガワ副学長補佐が来学しました。須賀一好学長、山口常夫国際センター長、阿部裕美人間関係学科副学科長の他関係教職員との懇談を行い、今後も継続して期待される本学との国際交流や短期語学研修プログラムなどについて意見交換しました。

本学では、国際交流をととしてのグローバル教育に力を入れて取り組んでいます。学生が多国籍の人と触れ合い、異文化を知り新しい価値観を育む体験ができるよう、サポートしています。

REPORT 5月27日(土)スポーツ祭を開催しました



スポーツ祭実行委員が運営・進行を担当し、ピザ駅伝・ソフトバレー・バスケの3種目を行いました。

スポーツ祭当日は天気が良く、「ピザ駅伝」では強い日差しの下、熱いピザを持ち走る姿がとても輝いて見えました。体育館競技も外の暑さに負けない白熱した戦いを見せ、学科・クラス・学年の壁を越えて、全員で楽しむことができたと思います。各競技で、他学科・他クラスの応援をする姿が見受けられ、文教生の人柄の良さ、全体としてのまとまりを感じることができました。

久しぶりの開催で、皆が爆発したかのように盛り上がり、笑顔の絶えないスポーツ祭になりました。

REPORT 徳明財經科技大学の学生と交流しました



8月28日(月)～31日(木)の3泊4日で、徳明財經科技大学の学生6名と先生1名が来県し人間関係学科「プロジェクトツアーA」履修者の9名と交流しました。

1日目は南陽市でのぶどう狩り、大学での芋煮とつや姫のおにぎり作りなど山形特産の味を満喫。本学の学生から山形の伝統文化や観光スポット、文教大の歴史や特色も紹介しました。2日目は文翔館・霞城公園を見学後、蔵王に向かいどこぞ沼周辺を散策しました。

交流活動をととして、日本と台湾の学生の日常や、互いの文化の共通点・相違点などを知ることができ大変刺激的な時間となりました。

NEWS 個人・団体での大学見学を随時受付中



本学では、オープンキャンパス以外の日でも、個人・団体(学年やクラス単位でも可)での大学見学を随時受け付けています。見学の内容は学科説明・模擬授業・キャンパスツアー・学食体験など、ご希望に応じて実施いたします。5月～7月で、6つの中学校、7つの高等学校のみなさんが見学に来てくれました。また、「東北文教大学の雰囲気をも自分の目で確かめたい」という受験生や保護者の皆さんも、ぜひ大学見学へお越しください。詳しくは入試広報センターまで、お気軽にご相談ください。

【入試広報センター】
TEL:023-688-2296 / E-mail:GO@t-bunkyo.ac.jp



子どもたちの心に残る
楽しい体験を
積み重ねていきたい

OTAKE WATARU 大竹 航さん

村山市立大久保小学校

教員を目指すきっかけは、中学時代、友達に英語の文法を教えた際、「わかりやすい、面白い」という反応に教える楽しさを知ったから。それから、高校生のとき野球の大会に挑む私に応援メッセージをくれた、小学校時代の恩師の存在も大きかったですね。

教員1年目は5年生を担当。授業づくりや体育主任としての仕事、高学年の児童との関わり方など、毎日が失敗の日々。それでも当時の指導担当だった教頭先生は「自分でやらなきゃ気がつかないし、力がつかない」と。ですから「挑戦し、失敗し、指導をいただく」の繰り返しでした。でも、そのご指導が今に生きています。

大きな転機は受け持っていた5年生が6年生へ進級してからのこと。厳しさを見せることを意識して指導してきたのですが、学級が上手くまとまらなかったのです。そこで、厳しく指導するのではなく、「先生も一緒にやろう」というスタンスに180度方向転換。子どもたちが本音を出してくれるようになり、学級としてもまとまるようになりました。

大切にしているのは、どんな子にも「君のことが大事なんだよ」という姿勢を見せ続けること。こうした考えは大学の先生方に何度も教えていただいたことです。想いを受け止め親身になってくださった先生方。自分自身もそういった教員でありたいです。

今の目標は、担任を務める6年生が勉強や行事で一つひとつ成功体験を積み重ね、満足して卒業すること。「楽しかった」と言って卒業してくれることが一番嬉しいですし、自分が自信を持っている部分でもあります。卒業しても学校に会いに来てくれたり、出場する大会に呼んでくれたりして、成長した姿を教え子たちが見せてくれるのもやりがいの一つ。今担任している子やこれから出会う子どもたちとも、そんな関係を築いていきたいですね。

私の HISTORY

プロフィール
1996年生まれ。山形県立寒河江高等学校出身。2019年東北文教大学子ども教育学科卒業。同年から村山市立大久保小学校教諭となり、現在5年目。6年生を2回、卒業生として送り出した。

1年次

小学校教員を目指し東北文教大学に進学。友達と野球に遊びに、充実した日々

2年次

大学受験での苦い経験から一発合格したいと、教員採用試験に向けて猛勉強

22歳

教員1年目。子どもと上手く関わらず、挫折を経験

24歳

厳しい指導から、「一緒にやろう」という指導へ180度方向転換。

ここがターニング Point!

子どもが本音を出してくれるようになり、クラスが成長するきっかけに



担任した6年生の卒業式では誰よりも先に号泣

担任する6年生が「楽しかった」と思える1年にするために全力疾走。将来、目指すのは「この先生が必要」と周りに頼られる存在

現在

TOBE! 広報誌タイトル「TO BE!」の由来

TO BEには「やがて～になる」の意味と「TOBE(飛べ)」という思いを込めました。東北文教大学は「なりたい自分」を見つけ、未来に向かって羽ばたいていく皆さんを応援していきます。